

令和6年9月10日

クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業  
「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業  
(文化芸術活動基盤強化基金)」の採択先の決定について

文化庁では、海外で活躍が期待される若手クリエイター・アーティスト等を育成するとともに、その活躍・発信の場である文化施設の機能強化を行うため、5年程度の活動目的の下で、3年程度弾力的かつ継続的に支援する事業について、独立行政法人日本芸術文化振興会における審査委員会において、13件の採択先を決定しました。

## 1. 選考にあたって

- ・ **審査員**：博物館・美術館、劇場・音楽堂等に知見を持つ方だけではなく、舞台芸術、美術や地域アートプロジェクト等、文化芸術の各分野の専門家や、社会・経済的価値の観点から海外マーケティングや情報発信の実績を有する専門家が審査に参加し、(独)日本芸術文化振興会において審査を実施。
- ・ **審査基準**：主に、①組織・体制構築、②育成計画・内容、③海外のニーズを踏まえた公演・展示等、交渉・マーケティング、④社会性・経済性・発展性(国際プレゼンス向上、市場拡大への期待)の観点等を設定。

## 2. 採択結果

- ・ **応募件数**：のべ63件  
※事業規模別に以下の区分を設けており、各施設は複数の区分に応募可能。  
大規模：3億円まで、中規模：1.5億円まで、小規模：4千万円まで
- ・ **採択件数**：13件(詳細は別添1のとおり)
- ・ **採択額**：13.6億円

《参考》

デフレ完全脱却のための総合経済対策(抜粋)(令和5年11月2日閣議決定)

第3節 成長力の強化・高度化に資する国内投資を促進する

1. 生産性向上・供給力強化を通じて潜在成長率を引き上げるための国内投資の更なる拡大  
(5) 教育DXフロンティア戦略の推進と文化芸術によるソフトパワーの形成・展開

世界に誇る我が国のコンテンツは、日本の成長力の強化に資することから、マンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等をはじめとするコンテンツ産業における次代を担うクリエイター・アーティストを育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設について、作品や資料等のデジタルアーカイブ化を含めた次世代型の機能強化を独立行政法人日本芸術文化振興会を活用して、弾力的かつ複数年度にわたって支援する。

施策例 ・クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業

<担当>文化庁企画調整課

課長： 寺本 恒昌（内線 2790）

参事官補佐：丸山奈津美（内線 4897）[博物館・美術館等]

課長補佐： 蛸名 博文（内線 3056）[劇場・音楽堂等]

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-4897（直通）

文化施設による高付加価値化機能強化支援事業  
 (文化芸術活動基盤強化基金)  
 採択結果

<集計表>

応募区分	応募件数	採択件数
博物館・美術館等	21	4
劇場・音楽堂等	42	9
計	63	13

<採択一覧(五十音順)>

区分	施設名	団体名	事業区分	採択額(千円)
博物館・美術館等	大分市美術館	大分市	中	57,000
	国立科学博物館	独立行政法人国立科学博物館	大	280,000
	東京国立博物館	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	大	250,000
	森美術館	森ビル株式会社	大	260,000
劇場・音楽堂等	愛知県芸術劇場	公益財団法人愛知県文化振興事業団	小	40,000
	江原河畔劇場	一般社団法人江原河畔劇場	小	39,444
	静岡県舞台芸術センター	公益財団法人静岡県舞台芸術センター	中	53,000
	世田谷文化生活情報センター (世田谷パブリックシアター)	公益財団法人せたがや文化財団	中	100,500
	東京芸術劇場	公益財団法人東京都歴史文化財団	中	130,000
	東京文化会館	公益財団法人東京都歴史文化財団	中	50,000
	まつもと市民芸術館	一般財団法人松本市芸術文化振興財団	小	18,121
	山口情報芸術センター [YCAM]	公益財団法人山口市文化振興財団	小	40,000
	ロームシアター京都	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団	小	40,000